

さらなる向上・  
五つの希望  
校長 七五三 和男

ここ数年、新型コロナウィルス感染拡大による安全等への配慮から、予定されていた多くの行事が中止または延期、内容の変更を余儀なくされてきました。誰もが経験したことのないコロナ禍の中、生徒は様々な不自由や我慢を強いられてきました。しかし、この試練の中で自分のやるべきことを見失わず、それぞれの目標に向かって意を尽くし、力を尽くして頑張ることができているのが、二松学舎柏

中高の生徒達です。そこで、生徒のさらなる向上を願い、次の五つの希望を伝えたいと思います。第一に、学習に積極的であれということです。学校での授業、自宅での予習復習など、主体的計画的な意欲を持った学習に努めてほしいということです。第二に、生活習慣を確立し、規律を守ることです。自覚的規律をもち、思いやりのある温かく力強い人間として、成長してほしいということです。第三に、目標を明確にせよということです。将来、社会において果たすべき使命を自覚し、個性に応じた進

路を決定するために、志を高く掲げ、明確な目標を持ち、計画的な日々を送ってほしいということです。第四に、国際社会に貢献する人間としての素養を身につけよということです。二十一世紀は国際化の時代であり、若き皆さんの時代です。グローバルな視点に立って貢献できる人間として、大きく育たねばなりません。最後に、お互いを高めあう、真の友人をつくってほしいということです。自分にはないものを友から学び取り、自分を向上させてください。友を信頼し、素直に接することによって、一生涯の友を得るこ

とになるのです。以上の五つより、今後生徒が将来の自己実現に向けての基礎固めをし、しっかりと行ってくれることに期待をいたします。

孔子からのメッセージ  
副校長 島田 達彦

皆さんが近い将来迎える社会は、socialの社会、つまりサイバー空間の莫大な情報をAIが分析、処理し、高付加価値を現実空間に還元して、より一層経済効果を高め、様々な問題を解決していく社会になるといわれてい

ます。例えば、車の自動運転もすでに実用段階にきています。そのような社会で活躍するためには、従来の価値観に縛られず、新たな価値観を生み出し、正解のない問いに答える柔軟な思考力と他を納得させるコミュニケーション力が求められます。また一方、今後10年間で、今ある仕事の半分がAIにとって代わるといわれ、漠然とした不安も感じざるを得ません。

このような時代を考えるとき、2500年前の孔子の言葉の中に改めて今、心に刻むべきメッセージがあることに気がつきます。一つは「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」です。孔子は社会生活の中で、自分の明確な考えを持たずに付和雷同することの危険性を伝えます。他も尊重する多様性を持ちながら自分が正しいと信じるこ

とは曲げることなく主張し、理解を得ることが、その集団を正しい方向へ導くと教えてくれます。

もう一つは「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」です。学問の内容を知識として知っているだけの人は、学問を心から好きだという人にはかなわない。しかし、学問を心から好きだという人も、学問を楽しみという境地になつた人にはかなわないという意味です。事において楽しむ境地に入れるか否かで大きく差が出ることになる。これから皆さんが生きていくうえで、あらゆる事に繋がる大きな指針となる言葉です。何事に対しても主体的に、そして何よりも楽しく取り組んでください。

「一世に有用なる人材」になることを目標に。

発行日  
**2023年  
4月25日**  
発行／  
二松学舎大学附属  
柏中学校・高等学校  
千葉県柏市大井2590  
TEL:04(7191)5242  
FAX:04(7191)6712  
WEB:https://www.  
nishogakusha-  
kashiwa.ed.jp  
編集／  
二松学舎大学附属  
柏中学校・高等学校  
広報部  
印刷／  
株式会社横濱総合写真

二松学舎建学の理念  
己を修め人を治め一世に有用なる人物を養成す

修己治人

まっつー  
二松柏  
オリジナル  
キャラクター  
しょうこ

|   |                                                                                          |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 自己実現に向けての基礎固めに期待<br>さらなる向上を願い、五つの希望を                                                     |
| 2 | 二松柏 活動レポート 中学校 編<br>2022年4月～2023年3月                                                      |
| 4 | 二松柏 活動レポート 高等学校 編<br>2022年4月～2023年3月                                                     |
| 7 | 2022年度 活躍した部活動紹介                                                                         |
| 8 | 二松柏NEWS&TOPICS<br>第6回英字新聞甲子園 全国準優勝<br>韓国語・中国語の大会で活躍<br>中・高英語スピーチ<br>ラジオ出演!テーマは「論語から学ぼう!」 |

仁愛の心  
～ 中高生徒会長より ～  
「会話を増やし、学校を賑やかに」  
第11期生徒会では、みんなが明るく元気に生活できる学校にするために、生徒どうしや先生との会話を増やせるような活動をしていきたいです。会話が增えることで学校が賑やかになり、みんなが明るく元気になると思ったからです。まずは生徒会から、会話を増やし、学校を賑やかにしていきます!よろしくお願いいたします。

中学校生徒会長  
中野 昂

「やりたいことの実現」  
この2年間は様々な制限によって、やりたくてもできないことが多かったと思います。第53期生徒会では、コロナ禍後の新しい様式に順応した行事の実現を目指して活動しています。体育祭や松陵祭などの生徒会行事の企画・運営に生徒の声を反映し「充実した学生生活だった」と思えるような学校にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

高等学校生徒会長  
盛永 和花

2022年度

二松柏 活動レポート

2022年4月～2023年3月

# 中学校編

2022年4月

## 入学式(中1)

4月7日、新しい制服に身を包んだ新入生84名を迎え、第12回入学式が本校体育館にて挙行されました。新入生は緊張しつつも、晴れやかな表情を浮かべ式に臨みました。

代表生徒から誓いの言葉が立派に述べられました。



2022年4月

## 始業式(中2・3)

4月6日、2022年度1学期始業式が行われました。上級学年での学校生活に期待と不安の気持ちを抱えながら、新学期をスタートしました。

2022年5月

## 田んぼの教室(中1)

5月14日に田んぼの教室「田植え編」が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、12期生の目標である、「探究・挑戦・尊重」のもと果敢に田植えに挑戦しました。あらゆる困難があろうとも、皆で協力し尊重しながら工夫して、できることを探し、挑戦している1学年を体現することができた。

1日でした。



2022年6月

## 体育祭(全学年)

6月2日、人工芝グラウンドにて中学校体育祭が行われ、生徒達は赤・白・青組に分かれて実施しました。生徒全員が初めての体育祭ということもあり、生徒一人ひとり、仲間と協力し全力で競技に取り組む姿は感動するものでした。最後は、チームの垣根を超え称えあう場面もあり、有意義な1日を過ごすことができました。



2022年6月

## 沼の教室(中1)

沼の教室では学校の近くにある手賀沼の水質調査や、近隣で執筆活動をしていた志賀直哉の小説「流行感冒」を題材に、スペイン風邪が流行った1920年頃の我孫子の様子の推測をしてい



ます。今後は手賀沼の季節による水質変化の調査や、スペイン風邪流行とコロナ禍での相違点などの考察をしていきます。

2022年6月

## 都市の教室(中1)

上野の「国立科学博物館」を訪れ、生徒達は事前に配布されたクイズに取り組みながら、見学を楽しんでいました。特に360度全方位に映像が映し出される「シアター360」は人気で、地球内部をリアルに再現した映像に感激した声が聞かれました。



2022年7月

## SEEP(中G)

3日間のネイティブ教員による英語プログラムが実施されました。



た。中学1年生は「世界の国々」中学2年生は「オーストラリア文化」中学3年生は「商品広告動画を英語でつくる」を中心に、国際理解活動や英語プレゼンテーションの練習を重ねました。ゲームを含むアクティビティを中心に、楽しく積極的に活動していました。



2022年7月～8月

## 夏期講習(全学年)

7月は英語・数学・国語の3教科について、1学期の復習を中心に組みました。8月は各学年松陵祭に向けて「沼の教室」「化学実験」「自問自答」について取り組みました。

2022年8月

## さかなクン in 二松学舎

今年の夏休み子ども研究会は、テレビ等で活躍している「さかなクン」を講師として行われました。中学生も、司会進行役や英語スピーチでのさかなクンの紹介、「沼の教室」の成果発表で参加しました。当日はオンラインデマンド方式に切り替わったため、緊張感が高まる中、撮影に臨みました。



2022年9月

## コミュニケーションワークショップ(中1G)

9月4日に、実践コミュニケーションセッショントレーナーの西田弘次先生をお招きし、プレゼンテーションをするうえで必要な力についてご指導いただきました。



### 田んぼの教室

(中1)

9月17日に  
稲刈りが行  
われました。  
あの日のか  
細い苗は、た  
わなに実をつけ、黄金色の  
絨毯となっていました。自



### 松陵祭(全学年)

2022年9月

9月17・18日の2日間、3  
年ぶりに「松陵祭」が開催  
されました。中学校では松  
陵祭として総合学習の成  
果発表を行いました。1年  
生は手賀沼に関する探究  
学習の発表、2年生は科学  
実験教  
室、3年  
生は自  
問自答  
論文の発  
表を行い  
ました。



### 古都の教室

(中2)

2022年11月

11月中旬に京都奈良方面  
へ3泊4日の研修旅行を  
実施しました。入学してか  
ら初めての宿泊行事であ  
り、入念に事前学習をして  
臨みました。奈良では法隆  
寺や東大寺の見所や時代  
背景を元に観察し、京都で  
は17グループに分かれて  
紅葉で彩られた寺社へ班  
別行動をしました。多くの  
面で気づきと学びのある  
行事と  
なりま  
した。



### 広島・大阪・神戸 修学旅行(中3)

2022年11月

中学3年生は、11月17日  
から3泊4日で広島・大阪・  
神戸修学旅行に行っていま  
した。中学校生活での宿泊  
行事はこの修学旅行が初め  
てということもあり、生徒  
達は出発前から期待に胸を  
膨らませていた様子でし  
た。この4日間で様々な見  
聞を広めたのはもちろんで  
すが、あらためて仲間達と  
の絆を深める修学旅行に  
なりました。



### WEP(中G)

2022年12月

今年度2回目となる、3  
日間のネイティブ教員によ  
る英語プログラムが実施さ  
れました。中1は、「イギリ  
ス文化」中2は「カナダ文  
化」と来年度の海外研修に  
向けての学びのスタートに  
なりました。中3は3年  
間の集大成として最後の英



語プレゼンに  
臨み、3年間  
の英語プロ  
ラムを締めく  
くりました。

### 職業理解 ガイダンス(中3)

2022年12月

12月3日に大学教授や各  
業界のエキスパートの方々  
を講師として招き、職業理  
解ガイダンスが行われまし  
た。「仕事内容」、「やりが  
い」、「必要な能力」などを  
聞き、将来の職業やこれか  
らの学生  
生活を考  
える大  
変良い  
機会と  
なりま  
した。



### 漢文検定 (論語・漢詩)

(全学年)

2023年1月

1月28日に論語漢詩検定  
が行われました。学年ごと  
に初級・中級・上級を受験し、  
道徳や国語の授業で行われ  
ている学習成果を確認しま  
した。

### 雪の教室

(中1・2)

2023年2月

会津高原たか  
つえスキー場で、  
中学1・2学年  
合同の雪の教室が行われ  
ました。山頂からスキーで  
滑る体験をしました。2泊  
3日の研修でしたが、多く  
の生徒がチャレンジする  
姿勢を学び、スキーの上達  
につなげました。



### 古都の教室

(中3)

2023年2月

昨年度行けなかった無念  
を払拭するように卒業間  
近の2月に行って参りま  
した。奈良では大仏様の  
大きさに驚きながら薬師寺  
でありがたい説法を聞き  
ました。自  
分のこと  
を省みる  
良い機会  
となりま  
した。京  
都では、班ごとに5つの  
コースに分かれ自由に散  
策しました。みんな楽しく  
3日間を過ごし良い思い  
出ができました。





2023年2月

## 「自問自答」 発表会(中3)

2月18日に、中学3年生による自問自答発表会が行われ、各自が定めたテーマについて書き上げた約8000字の論文を、7分のスライドにまとめて発表しました。本番では緊張しながらも顔をあげ、身振り手振りを交えて発表する姿に、中学3年間を通しての成長が感じられました。



2023年3月

## 修了式(中1・中2)

3月20日、修了式が学年の会場に分かれて実施されました。コロナ禍で全校集まったの式の実施とはなりませんでしたが、成長を感じる充実感と進級して新たな後輩を向かい入れる期待の表情を浮かべ式に臨みました。

2023年3月

## 卒業式

3月17日に中学校第10期生の卒業式が行われました。卒業生が一人ずつ卒業証書を貰う姿は立派であり、中学校生活3年間の身心の成長を見せてくれました。10期生が新しい世界でそれぞれに活躍してくれることを願っています。



2023年3月

## ブリティッシュ ヒルズ(中1・G)

3月31日～4月2日に、福島県のブリティッシュヒルズにて英語研修が行われました。グローバル探究コースの生徒が研修に参加し、イギリス文化学習や、海外研修につながる英語表現の学習が行われました。研修施設内では、公用語が英語となるため、緊張しながらも英語を使う生活に慣れ親しみました。



2022年度

## 二松柏 活動レポート

2022年4月～2023年3月

## 高等学校編

2022年4月

### 入学式(高1)

桜薫る4月7日。本校の「第54回入学式」が、時間短縮や人数制限など、様々な感染症対策を徹底した上で挙行されました。新しい制服に袖を通し、希望に胸を膨らませ、学校生活のスタートを切りました。



2022年4月

### 始業式(高2・高3)

今年度もオンライン始業式で新学年がスタート。新しいクラスの教室は緊張感に包まれていましたが、クラスメイトとのちよつとした会話に、これからの学校生活への期待感が膨らんでいるようでした。

2022年4月

### 球技大会(高2)

新しいクラスになつてすぐの行事。まだまだ慣れていないクラスメイトとバスケ、バレー、バドミントン、卓球の4種目を通して親睦を深めました。



2022年4月

### 芸術鑑賞会(高2)

最後は2学年教員団とのエキシビションマッチに大歓声を送られていました。

汐留・電通四季劇場「海」に生徒達が続々と集合し、期待を膨らませながら、アラジンの開演を待っていました。オーブニングから華やかな衣装とダンスに圧倒され、アグラバーの世界に飛び込んだような感覚に誰もがなっていました。アラジンの誠実さ、ジャスミンの強さと美しい歌声、ジーニーのコメディセンスとエネルギーギッシュなダンスなど様々なキャストに魅了され、フライングカーペットのシーンでは感嘆の声が上がっていました。生徒達は劇団四季の魔法にかかったようで、笑顔で劇場をあとにしていきました。





2022年6月

### ■ 体育祭(全学年)

雨のため順延されましたが、開催されました。全学年の生徒が高校での体育祭は初めてだった為、運営に少しの不安もありましたが、裏方の仕事にも積極的に参加し、生徒達の躍動する姿がグラウンドに輝いていました。従来の競技の他、クラス対抗大縄など新しい種目も追加され、クラスの団結力も高まっていたようです。各競技では、やはり3年生の活躍が群を抜いており、最高学年としての圧倒的な存在感を放っていました。



2022年6月

### ■ 球技大会(高1)

6月、1学年の球技大会が行われました。バレーボール、バスケットボール、卓球の三種目で熱戦が繰り広げられ、クラス一丸となって盛り上がりがありました。



2022年6月

### ■ 横浜鎌倉修学旅行(高3)

コロナ禍で延期されていた修学旅行が、6月中旬に実施された。初日は八景島シーパラダイスで楽しい時間を過ごし、その後は異国情緒溢れる横浜の街で班別行動が行われた。2日目は鎌倉まで移動し、「歴史を感じさせる



2022年7月

### ■ サマーセミナー(高2)

写真を撮る」という課題を熱心にこなしした。そして、何より有意義だったのは、こうして学年全員で素敵な思い出を共有できたことだ。



7月26日から3泊4日で、3年ぶりの「サマーセミナー」が開催されました。S 特の生徒を中心に全69名が参加し、朝から晩まで勉強をするだけでなく、東京大学遠征に行くなどして、受験に向けて意識を高めました。



2022年8月

### ■ 夏期講習(全学年)

8月23日からの4日間で「夏期講習」が行われました。

2022年8月

### ■ 海外研修代替プログラム(高G)

参加を希望した生徒は、この期間に河合塾の「全統記述模試」を受験し、自身の腕試しをしました。



昨年引き続き、海外研修代替プログラムとしてSDGsコラボレーションプログラムを開催しました。グローバルな知識と技術を習得できるプログラムで、実際に海外の留学生とSDGsについてのコミュニケーションやプレゼンテーションを行いました。オールイングリッシュでの会話やスライド作成に、苦戦しながらも充実した時間となりました。



2022年9月

### ■ 松陵祭(全学年)

「途上国課題解決型PBL」昨年引き続き、海外研修代替プログラムとして、途上国課題解決型PBLを開催しました。途上国の現状をボードゲームや映像で認識し、オンラインで途上国の文化や生活を生徒自らインタビューしながら知ることができました。



3年ぶりに第53回松陵祭が開催されました。テーマは「二百花繚乱」二松で二度(ふたたび)花が咲く」です。未曾有の危機を乗り越え、くすぶっていた青春のつぼみが、まばゆい光を浴びて一斉に花開く姿を表現しました。そのテーマにふさわしく、コンセプトカジノやインスタ映えスポットなど、時代を反映した今までにない企画が登場しました。一方で従来から親しまれている企画も趣向が凝らされ、お化け屋敷ではあまりの恐怖に泣いてしまう人が続出するほどでした。誰も経験したことのない行事を一から作り上げた今年の松陵祭は、全生徒、来校されたすべての方の記憶に残るような素晴らしい行事となりました。





2022年11月

## 生徒総会(全学年)

第53期生徒会選挙が行われました。今年も実際の政見放送を模して、全校一斉放送にて生徒総会を行いました。選挙では、学校生活をさらによくしていくとす  
る強い想いがこもった演説が行われました。「学校生活アンケートの導入」「みんなの思いを実現」「生徒会の見える化」「青春の謳歌」。次期生徒会の活躍を心待ちにしています。

2022年11月

## 沖縄修学旅行

(高2)

那覇空港に到着したその日の午後に、私達はまず平和祈念資料館とひめゆりの塔を訪れた。同じ年ごろの



高校生達

まで情け

容赦なく

巻き込ん

でいく戦

争の悲惨

さと、先人

達の尊い犠

牲の上にあ

るこの平和

について、

改めて思い

をはせる。

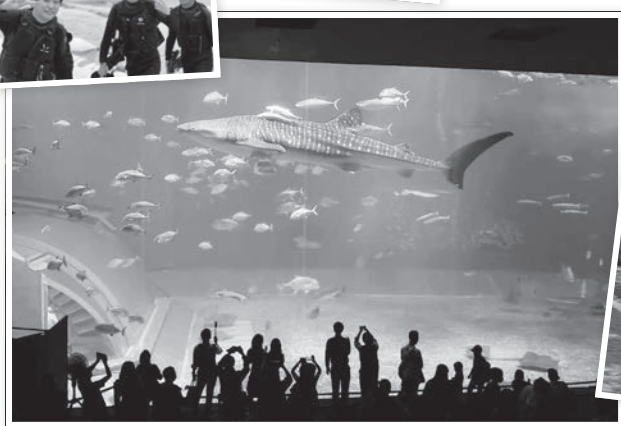


について学ぶ体験学習。シユノーケリン  
グやシーカヤック、  
グラスボートや  
シーサー作りなど  
を通して、沖縄固  
有の豊かな大自然  
に溶け込む。

4日目は奇跡の  
1マイルと言わ  
れ、沖縄復興のシ  
ンボルともなっ  
た国際通りでお土産散策

2日目は、発展と変貌を  
続けるダイナミックな観光  
都市沖縄の魅力存分に楽  
しんだタクシー班別自由研  
修。沖縄の多様かつ国際的  
なチャンプルー文化を肌で  
感じる。

3日目は、美ら海  
水族館見学と、沖縄  
の文化や自然に親し  
みながらSDGsに



などなど。沖縄の本土復

帰50周年という記念すべき

年に、本校としてはじめて

挑んだ沖縄での修学旅行は、

とても濃く充実したものと

なった。

2022年12月

## 職業ガイダンス & 大学模擬授業

(高1・2)

期末考査を終え、キャリア  
アガイダンスの一環として  
「進路・職業ガイダンス」が  
行われました。様々な分野  
の大学教授・業界のエキス  
パートの方々に講師として  
来校して頂き、実務的なお  
話や本格的な大学模擬授  
業・実験などが行われ、生徒  
達も興味を持って参加して  
いました。

2023年2月

## 三送会(高3)

3年ぶりに開催となった  
「3年生を送る会」。以前の  
ように高校全学年が参加し  
てというわけにはいきませ  
んでしたが、今回は現生徒  
会役員の司会進行の下で体  
育館を使用しての開催でし

た。吹奏楽部による演奏、

教職員のダンス動画、在校

生からのお祝い動画、3年

間を振り返る思い出のス

ライドショーを視聴の後

は、〇×クイズ。学校や先

生達に関する問題に挑み

ました。最後に3学年教員

達によるパフォーマンス

が披露され盛り上がりま

した。3年生は久しぶりの

登校日でしたが、クラスメ

イト達と笑顔溢れるひと

時を過ごしました。



2023年3月

## 修了式(高1・2)

1・2年生ともに教室で  
修了式は行われました。生  
徒達は、様々な経験を重ね、  
少し大人びた表情を浮かべ  
ながら、修了証を受け取り  
ました。校長先生や各担任  
の先生方からの話を胸に刻  
み、1年間の締めくくりま  
した。

2023年3月

## 卒業証書授与式

令和2年、新型コロナ  
ナウィルスの感染拡大  
とともに高校生活をス  
タートさせた269名  
が、3月3日、晴れやか  
な笑顔で本校を巣立つ  
ていきました。

卒業証書は、クラス  
ごとに代表者が受け取  
ります。優等賞・三箇年  
間皆勤賞、各賞も含め  
て、代表者の壇上での  
振る舞いは、堂々とし  
て立派でした。七五三  
和男校長は式辞で、制  
約の多かった3年間で  
振り返り、「論語の精  
神を心の糧に」とエー  
ルを送りました。卒業  
生代表の言葉では、前  
生徒会長の竹内明日香  
さんが、これまで支え  
てくれた人達への感謝  
の意を述べました。





2022年度

活躍した部活動紹介

### ハンドボール部(高校)



私達ハンドボール部は昨年12月に行われた千葉県高等学校新人大会で優勝し、千葉県代表として2月に行われた関東高等学校選抜大会に臨みました。この大会では、三重県で行われる全国高等学校選抜大会への出場権をかけて試合が繰り広げられました。

好敵手のチームに苦戦を強いられながらも、多くの方々の応援の後押しもあり、全国への切符をなんとか手にし、関東代表になることが出来ました。今は関東大会を通

して新たに出た課題を軸に、全国大会へ向けて日々練習に励んでいます。平日は約2時間半と短い時間ですが、一人一人が自分の課題に向き合い、チーム力向上へ向けてチーム全体が一丸となって練習しています。私達はよく顧問の池田先生から、「ディフェンスはチームの鑑」だと教えられています。ハンドボールにおけるディフェンスは、激しい身体接触に加え、相手の動きの予測や味方同士のコミュニケーションを必要とする難しいものです。だからこそ、まとまっているチームほどディフェン

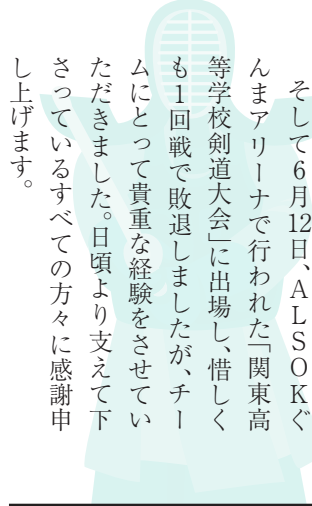


ス力があります。私達はそのようにディフェンスを磨き上げ、更に進化したチーム力を全国選抜大会で発揮し、夏のインターハイ出場に繋げていきたいと考えています。また、二松学舎柏の一生徒としての自覚を持ち、ハンドボールだけでなく学業にも全力で励んでいます。

日頃から私達を支え、応援してくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの大会に臨みたいと思います。

ハンドボール部部长 今岡煌一朗  
(2月中旬寄稿)

### 剣道部(高校)



剣道部は目標としていた「関東大会」に初出場することが出来ました。

関東大会予選会の男子団体において、1回戦より順調に勝ち進みましたが、準々決勝で負けてしまいました。

5・6位決定戦でも負けてしまい、7・8位決定戦に挑みました。勝つことが出来なければ関東大会へは出場できない状況に追い込まれました。

大将戦が終わった時点で、勝者・本数共に同点となり、代表者決定戦となりました。会場は静まり返る中、部長である大将が1本勝負に挑んだ結果、見事1本取って7位入賞、関東大会の出場権を獲得しました。

そして6月12日、ALSO Kぐんまアリーナで行われた「関東高等学校剣道大会」に出場し、惜しくも1回戦で敗退しましたが、チームにとって貴重な経験をさせていただきました。日頃より支えて下さっているすべての方々に感謝申し上げます。



関東大会予選会の男子団体において、1回戦より順調に勝ち進みましたが、準々決勝で負けてしまいました。

5・6位決定戦でも負けてしまい、7・8位決定戦に挑みました。勝つことが出来なければ関東大会へは出場できない状況に追い込まれました。

大将戦が終わった時点で、勝者・本数共に同点となり、代表者決定戦となりました。会場は静まり返る中、部長である大将が1本勝負に挑んだ結果、見事1本取って7位入賞、関東大会の出場権を獲得しました。

そして6月12日、ALSO Kぐんまアリーナで行われた「関東高等学校剣道大会」に出場し、惜しくも1回戦で敗退しましたが、チームにとって貴重な経験をさせていただきました。日頃より支えて下さっているすべての方々に感謝申し上げます。

# 二松柏 NEWS&TOPICS

## 第6回英字新聞甲子園 全国準優勝

高校2年生グローバル探究コース在籍の7人が1年間かけて作成してきた英字新聞が第6回英字新聞甲子園にて全国準優勝を頂きました。

新聞のテーマは

Think globally+Act locally=glocal!

「世界で話題になっているグローバルなテーマについて、柏でできる探究活動を記事にする」です。7人がそれぞれ7つのテーマを見つけ、活動、取材をし、新聞にしました。

審査員である東大、筑波大、上智大など先生方からも、「昆虫食、放射線、ジェンダー問題など、広角的、時間的に幅の広い視点で世界で話題になっているテーマと柏の探究活動を繋げた記事として地に足のついた作品となり、非常に完成度が高い」との評価を頂きました。

夏休みの暑い中、昆虫採集、放射線計測に加え、土器を掘ったりなど、高校生らしく汗水流した生徒達の努力の結果です。

また、中学1年生からの本校グローバル教育5年プログラムを終えるタイミングの生徒達がこのような評価を頂き、グローバル探究委員会スタッフとしても大変喜ばしく思っております。

来年度以降も生徒、教員共により活動ができるよう頑張っていきます。



## 韓国語・中国語の大会で活躍

11月、千葉市民会館で開催された第38回千葉県韓国語弁論大会のプレゼンテーション部門に、韓国語の授業を選択している3年生1名が出場しました。「私が韓国語を勉強する理由、ギョニア」というタイトルで、韓国人の友人、ギョニアさんとのやりとり、今後の夢などを大変美しい発音で発表し、見事金賞を受賞しました。



12月、明海大学にて開催された第6回中国語・日本語通訳コンテストに1年生から3年生4名の生徒が出場しました。4名とも互いに協力しながら練習に励んできました。当日はその成果を大いに発揮し、「通訳訓練の部・第2部」で最優秀賞、「同時通訳の部」で優秀賞、「通訳訓練の部・第1部」と「逐次通訳の部」で明海大学地域学校教育センター奨励賞を受賞という素晴らしい成績を収めることができました。



2月、県立幕張総合高等学校にて第15回千葉県高校生中国語発表大会が開催され、中国語の授業を選択している3年生3名の生徒が、「入門の部」、「初級の部」に分かれて出場しました。当日は中国語の学習の集大成にふさわしい、堂々とした朗読を披露することができました。結果「入門の部」と「初級の部」で優秀賞を受賞し、有終の美を飾ることができました。



## 中・高英語スピーチ

ここ数年間中止となっていた「英語スピーチコンテスト」が学校内外で再開される運びとなった。

8月に行われた「柏市中学校英語発表会」では、3年C組の栗原空雅さんが暗唱部門で発表を行い1位入賞となった。

9月に行われた校内英語スピーチは、高校生の部と中学生の部と2部に分けて開催となった。高校生の部で2年1組の西飯倫さんが1位入賞、2年2組の東優里さんが2位入賞、2年3組の楠莉々奈さんが3位入賞となった。一方、中学生の部では、3年C組の栗原空雅さんが1位入賞、3年C組の小笠原杏子さんが審査員特別賞を受賞した。松陵祭で行われた英語スピーチの会場には、多くの先生方、保護者の方で賑わい緊張感に包まれる中、発表者に多くの拍手が送られた。



9月に行われた「松戸地区英語スピーチコンテスト」では、1年音読部門で、1年5組の篠田佑人さんが発表を行い2位入賞、1年暗唱部門では、1年2組の山下琉菜さんが発表を行い2位入賞となった。

11月に行われた「第20回田崎清忠杯 私立中学校英語レシーション大会」では、中学1年生の部で、発表を行った1年C組の藤木花音さんが3位入賞となった。

## ラジオ出演! テーマは「論語から学ぼう!」

1月12日にbayfmのラジオ番組「シン・ラジオーヒューマニスタは、かく語りき」のコーナーの1つである「スゴイ中高生に、ぶっちゃけホネを聞いてみた」に高校1年生の篠田佑人君と茂呂居実恵さんの2名が出演しました。テーマは「論語から学ぼう!」で本校の論語教育についてMCである髭男爵の山田ルイ53世さんと構成作家の大村綾人さんと話をしました。



本校の中学校での論語の授業での漢文検定のテキストを使った「素読・暗唱」の紹介や、高校での「論語探究」の授業の紹介をしました。篠田君は学んだ論語から、「学びて思わざれば則ち罔し。思いて学ばざれば則ち殆し。」「学問」には「学ぶこと」と「考えること」の二つが必要で、これを実践しようとしていると話しました。茂呂居さんは「過ちて改めざる、是を過ちと謂う。」間違いを直そうとしないのが本当の過ちであることを話しました。また、前向きに漢文を学ぶことができるようになったと語ってくれました。

最後に、高校2年生になる抱負を聞かれ、先輩になり学校生活を充実させるとともに、修学旅行などの行事を楽しめる1年間したいと語ってくれました。明るい雰囲気での収録となり、貴重な体験をすることができました。

中学校、高等学校のFacebookページを公開中。「いいね!」してね。



<https://www.nishogakusha-kashiwa.ed.jp/>

詳しくはホームページをご覧ください。

二松学舎柏

検索

LINE

二松学舎大学附属柏中学校  
公式LINEははじめました!

受験生向けの情報を配信中です。  
ぜひご利用ください。



ID:@6431rrge